

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BT05	交通経済学		交通を経済学で捉え、現実で考える	遠藤 俊太郎	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	交通政策、交通の費用、運賃政策、規制政策、交通投資			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前受講するとよい科目		経済学 A/B、鉄道数学、鉄道システム論				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	本講義では、経済学の手法を用いて身近な交通問題を解明し、これが現実の問題分析にどのように役に立つのかを理解したうえで、客観的・論理的に考えた結論と現実と起こっていることの相違に気づき、考える力を身につけることを目的とする。					
到達目標	ミクロ経済学の理論に基づいて交通問題を分析し交通政策を提案する「交通経済学」について、その基礎を理解したうえで、交通事業や交通政策がどのような考え方で行われているのかを把握し、実務に必要な知識を身につける。					
講義内容	本講義では、交通のさまざまな要因・現象について、経済学の視点からどのように考えることができるのか、実際の事業・政策にどのように関連しているのかを、テキストに沿いつつ、具体的な事例を交えて解説する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	講義の目的・内容や進め方、講義計画・留意点等の説明			
	第2講	交通経済学の基礎（1）	交通政策の目的、機会費用で考える			
	第3講	交通経済学の基礎（2）	完全競争市場の資源配分、市場の失敗			
	第4講	交通サービスの性質	交通とは何か、交通サービスの特性			
	第5講	交通データの読み方	データでみる概況、データを読む際の留意点			
	第6講	交通の費用	費用の分類、費用特性による交通企業の行動			
	第7講	運賃理論（1）	運賃とは何か			
	第8講	運賃理論（2）	混雑料金の理論、ピーク・ロード・プライシング			
	第9講	運賃政策	総括原価主義、インセンティブ規制、二部料金制			
	第10講	規制政策（1）	規制の種類と根拠、規制緩和			
	第11講	規制政策（2）	環境規制、速度規制・安全規制			
	第12講	交通投資	交通プロジェクト評価、費用便益分析			
	第13講	外部補助と内部補助	補助の根拠、内部補助・外部補助			
	第14講	交通ネットワーク	ルート選択、さまざまなパラドックス			
第15講	交通経済学の展望	本講義で扱わなかった事項、交通経済学とその周辺				
指導方法	テキストに沿って授業を進める。随時、事例・実例を交えて紹介し、交通経済学と実務の繋がりについて講義する。					
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した内容に関連する事例について自ら調べ、その概要をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。2時間程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	平常点（小テスト・発表・授業内課題等）50%、本試験（筆記試験）50%					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	必要に応じ、個別のコメント返信や講義内での紹介・コメント等によりフィードバックする。					
テキスト	竹内健蔵「交通経済学入門」[新版] 有斐閣ブックス					
参考文献	竹内健蔵「なぜタクシーは動かなくてもメーターが上がるのか」、交通経済研究所「運輸と経済」各号					
実務家教員による授業	○	教員経歴	総合経済団体にてまちづくりや産業政策等に関する実務を経験したのち、ドイツにて交通政策の研究に従事。現職は公共交通関係のシンクタンク研究員。			
特記事項	実務経験を活かし、理論と現実の両面からアプローチします。積極的な参加を期待します。					